

うるくの コネタ

ローカルなコネタ、
歴史ネタなどをご紹介

ハワイに支えられた小禄の戦後復興 (字小禄ハワイ会館と小禄小の図書館) 那覇市小禄164

なぜ小禄の中に"ハワイ"!?

小禄にある『字小禄ハワイ会館』。"ハワイ"と名付けられているのを不思議に思う方もいるかと思います。この建物は戦後、ハワイ在住の小禄字人会(旧小禄村小禄、田原出身者ら)から贈られた1万ドルの義援金で建てられたものなのです。その義援金で小禄小学校には図書館(ハワイ記念会館)も建てられました。

【何も無い時代に届いた物資と1万ドル】

戦前、字小禄から多くの方がハワイへ移り住んでいました。1945年(昭和20)の沖縄戦後、焦土と化した生活に苦しむ故郷の復興のために、1949年(昭和24)にハワイ小禄字人会から学用品、運動用具、ミシン、辞典などが贈られました。『小禄小学校創立50周年記念誌』によると、英語辞典やノート、鉛筆などの学用品、野球用具の他、大量の生地で作るユニホームを作ることができたそうです。1952年(昭和27)には1万ドルの義援金が贈られ、それを基に1953年(昭和28)に小禄小学校の図書館(ハワイ記念会館)、1955年(昭和30)に小禄公民館(現字小禄ハワイ会館)、田原公民館が建設されました。



左: 小禄小の図書館(ハワイ記念会館)落成記念「小禄小学校創立50周年記念誌」より出典
右: 今も残るハワイ記念会館跡。図書館(ハワイ記念会館)はその後取り壊され、感謝を忘れないようにと小禄小学校の校門横に記念碑が建てられた

小禄小の図書館(ハワイ記念会館)を利用して いた仲本さんの記憶

「確か運動場の端に図書館があって、本を読んでいると運動場で遊んでいる声がよく聞こえていました。建物の前には花壇があって草木の緑を窓越しに見ながら本を読んでいたように思います。"ハワイ記念会館"という名前は意識したことがなかったですが、言われてみれば、校長先生が朝礼で話していたような... 気がします。自分の中では、たくさん本があっていい図書館だったなあという思い出です。」(仲本さんが図書館を利用していたのは建設して10数年後と思われる)



旧小禄公民館(現字小禄ハワイ会館) 小禄自治会館落成記念誌より出典

【今も続くハワイ小禄字人会との交流】

戦後、不足していた学用品や運動用具、そして図書館の建設は何も無かった当時の子どもたちにとって大きく、他地域に先駆けて公民館が出来たことは地域の復興に大きな役割を果たしました。今年3月に開催されたハワイ小禄字人会発足100周年記念式典にも沖縄から訪ねるなど、今でも交流は続いています。

【現在は青年部が使用】

新しい小禄自治会館が建設された後、旧小禄公民館は老朽化のため使用不能状態でしたが、ハワイの小禄字人会への感謝の気持ちを残すために改修を行い、『字小禄ハワイ会館』に改称しました。現在は字小禄の青年部が旗頭の修理・保管をする場所として利用しています。



現在の字小禄ハワイ会館。戦後の面影を残しながら今も地域に利用されている

ハワイ・マウイ島への寄付を検討中
今年8月に発生したハワイ・マウイ島の大規模な山火事に関して、字小禄では寄付を検討中だそうです。



編集後記 「誰かの一杯」のために

今回も素敵なお店の皆さんにご協力いただきました。お忙しい中、取材にご協力いただき本当にありがとうございました！取材を通して、珈琲は味わうだけではなく、忙しい中の一息する時間だったり、自分のための1杯を丁寧に淹れる贅沢な時間だったり... 人それぞれの1シーンに欠かせ

ない存在なんだと改めて感じました。豆を選び、焙煎し、丁寧に淹れる。お店の方の「誰かの一杯」に込める想いに触れさせていただき、心がじんわりとなりました。こういうお店がうるくにあるって幸せ〜♡

うるくローカルプレスの「小禄(うるく)」は、【小禄、字小禄、宇栄原、具志、高良、田原、金城あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS うるくローカルプレス

WEBサイト
誌面では伝えきれない情報が満載!
<https://uruku.daikyo-k.net>

お問合せ&窓口
✉ uruku@daikyo-k.net
各SNSからのメッセージもOK!

Facebook twitter instagram youtube

うるくの情報発信局 『うるくローカルプレス』 編集部: 那覇市宇栄原925番地 若葉荘1-3号室 運営: 大鏡建設株式会社(那覇市宇小禄912-1)

人とまちの、未来をつくる。 大鏡建設 DAIKYO CONSTRUCTION

URUKU LOCAL PRESS

Coffee

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報をお届け!

2023年10月
vol.13



無料 TAKE FREE

珈琲時間



珈琲時間

ほっとするひと時、自分だけのひと時。
 日常に寄り添ってくれる美味しい
 珈琲のお店をご紹介します。



【間借り珈琲屋】
dandelion /
 (ダンデライオン)



週に一度の“癒しの珈琲屋”

自家焙煎の珈琲屋さん。店舗を持たず、毎週月曜日、宇栄原の
 小祿中前にある『無添加シフォンケーキと焼き菓子の店Grand
 Jete』さん店内で営業しています。おすすめは『コーヒーと
 トーストセット』。カリッと香ばしいトーストに自家製コーヒー
 クリームがふわっと軽やかで珈琲によく合います。また、健康・
 美容に良いと注目のデーツ(シロップ)を使った『デーツラテ』も
 人気だそう。デーツの自然な甘さに芳醇なラテが美味しいです。
 オーナーの當山さんはアロマキャンドルの製作・販売、ストレ
 ケアカウンセラーとしても活動されており、「珈琲もアロマと
 一緒に、癒しの効果があると思います。一杯の珈琲でリラックス
 していただくと嬉しですし、珈琲を通して人とつながる
 “その先にあるもの”を大切にしたいと思っています。癒しの
 珈琲時間を過ごしたい方にぜひ。



【間借り珈琲屋】
Dandelion (ダンデライオン)
 ☑【間借り場所】
 『無添加シフォンケーキと焼き菓子の店
 Grand Jete(グランジュテ)』さん店内
 那覇市宇栄原1008-1(1-D)
 ☎ 毎週月曜 9:00-13:00 あり
 📍 dandelion_coffee_salon



コーヒーとトーストセット ¥850(税込)



コーヒー ¥500(税込) (タイの豆 ¥600(税込))



デーツラテ ¥600(税込)

自家製コーヒークリームがふわっと軽やか



地元の方へメッセージ
 ホットする時間として来て
 いただけたら嬉しいです

うるくのココが好き!
 サンエーうえばる団地店が
 好きです!(広くて清潔で
 お惣菜のクオリティが◎)
 あと、お花屋さんが多い
 ところも好きです!

Grand Jeteさん店内に珈琲豆の販売もしています!



店内の様子

100g / ¥700(税込)

自家焙煎珈琲
豆福

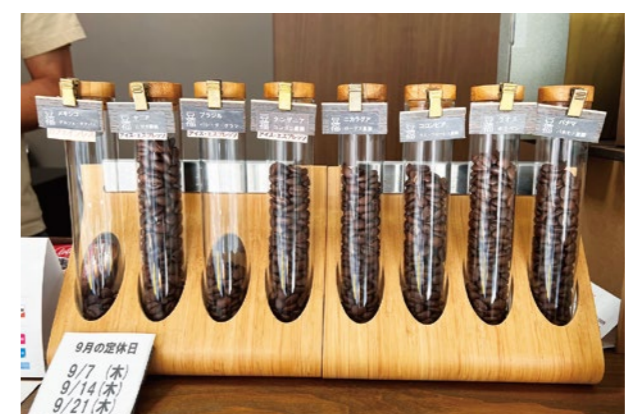


自宅で楽しむ“うち珈琲”に。

山下町の住宅街にある自家焙煎珈琲のお店。焙煎豆の販売と
 持ち帰り珈琲の専門店です。洗練された店内カウンターには焙煎
 したての豆が5~8種類。中煎り~深煎りまであり、それぞれ
 の特徴や風味など、オーナーの平良さんが丁寧に教えてくれます。
 その日に売り切れる程度の量を計算しながら焙煎するので焙煎
 したての豆を買うことができ「焙煎後、少しずつ風味や味わい
 が変化していくので、その変化も楽しんでいただきたいです。」と
 平良さん。常連客も多く、特に週末は人気の豆が売り切れてしま
 うこともあるので早めの時間がおすすめ。挽きたて・淹れたての
 持ち帰り珈琲もありますが、焙煎豆の販売をメインにしているのは
 「珈琲って日常の飲み物だと思うんです。自宅で淹れれば1杯
 あたりも安価で飲めますので、自宅用の焙煎豆にこだわりたいん
 です」。自宅で楽しむ1杯に、おすすめです。



自家焙煎珈琲 豆福
 ☎ 070-8420-2014
 ☑ 那覇市山下町4-29 1F
 ☎ 8:00-14:00(豆が売切れ次第終了)
 ☎ 不定休
 📍 あり
 🌐 mamefuku.webnode.jp/

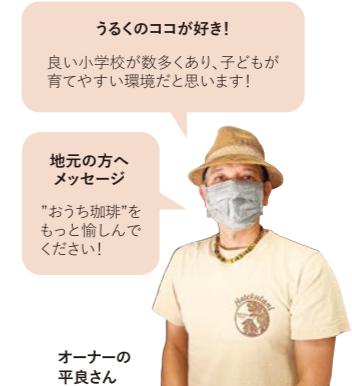


9月の定休日
 9/7(水)
 9/14(木)
 9/21(木)



豆福焙煎豆(各種) ¥700(税込) ~ / 100g
 【豆の予約がおすすめ】
 前日午前中にご注文で翌日8:00以降にお渡しができます

焙煎したての豆が5~8種類



うるくのココが好き!
 良い小学校が数多くあり、子どもが
 育てやすい環境だと思います!

地元の方へ
 メッセージ
 “うち珈琲”を
 もっと楽しんで
 ください!

オーナーの
 平良さん

挽きたて・淹れたての
 ドリップコーヒーが
 お持ち帰りできます!

【持ち帰り】挽きたて・淹れたての
 ドリップコーヒー(各種) ¥400(税込)
 ※マイボトル持込で50円引き



お酒落なギフトBOXも
 あります。
 贈り物(送り物)に

Openしました! まちのとしょかん『うるく文庫』

うるくローカルプレス編集部内
 那覇市宇栄原925番地
 若葉荘1-3号室

地域みんなで、つくる、使える”まちのとしょかん”

本という“資源”を地域で循環させて、
 本から得られる“知識”を地域で共有
 できたら…というコンセプトのもと、
 インスタで本の寄付をお願いしてお
 りましたが、おかげ様で少しずつ本が
 集まってきました! ご協力いただいた
 皆さんありがとうございます! 『うるく
 文庫』は地域の皆さんの本でつくる、
 地域みんなの図書館。皆さんから寄せ

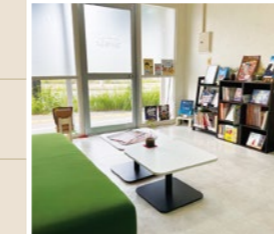
られた本を地域でシェアする図書館です。
 最近ではまちの本屋さんもめっきり少なくなり、
 地域にちょっとした本に触れる場所がある
 といふなあとという想いもあります。どなた
 でも自由に読むことができますので、ぜひ
 お気軽にご利用ください! ソファもあるので、
 散歩の途中のなかゆいにもどうぞ。

- OPEN時間 -

平日10:00-12:00, 14:00-17:00
 くらいの時間にかけてます
 ※取材対応等その日によって
 変わります



うるくローカルプレス編集部内



うるくや沖縄に関する本も!

セレクトコーナーでは
 毎回テーマに沿った本を提案



フリーペーパーも各号あります!
 過去号が欲しい方もぜひ

本の寄付引き続き受付中!

不要になった本を地域でシェア
 しませんか? 誰かに読んでほしい
 と思う本なら何でもOKです!
 持ち込み先
 うるくローカルプレス
 編集部まで

【協力】Select by
 絵本・知育玩具普及推進委員
 知念 勇喜さん
 Happy Mama Y'Y